

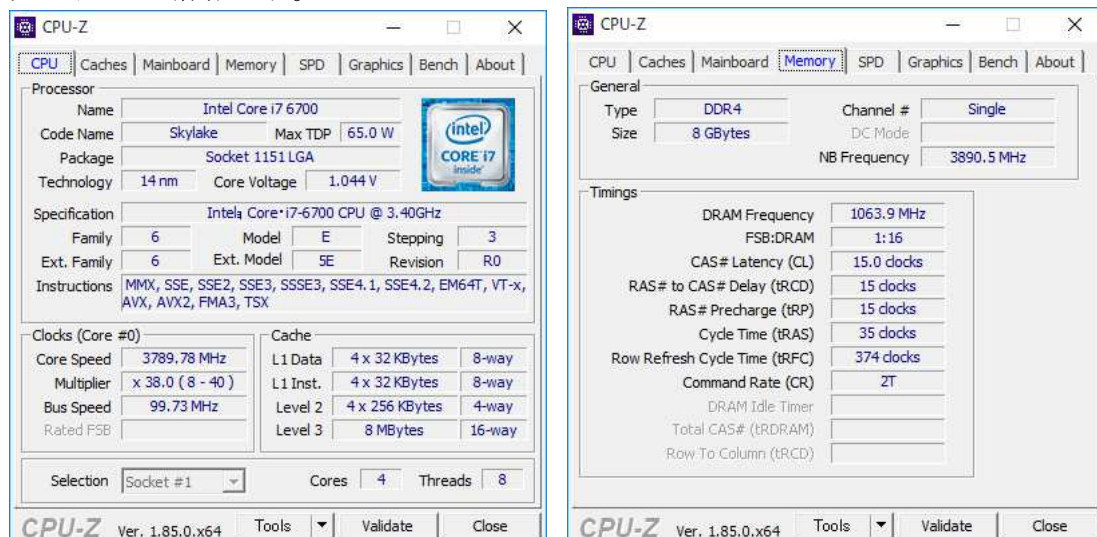
愛機のCPUランキング？

JJ1SXA/池

「最新PCのCPUと比べて、自分のPCのCPUがどれくらいの性能なのかを把握して置くことは重要だ、メモリーの増設やSSD交換などの強化を行うべきか、それとも買い替えるべきかの判断に役立つ」というような記事を見た、例えば、最新CPUが自分のPCの10倍も高性能なら、強化より買い替えだという判断に役立つ、ネットにはそういった判断に役立つ、CPUランキングサイトなるものがある。

まずは、自分のPCのCPUを確認する、「Windows」KEY+「X」KEYで、「管理メニュー」を開き、「システム」を選び、「バージョン情報」を開いて、「デバイスの仕様」から、「プロセッサ情報」でCPUの型番と動作周波数を読み取る、「実装RAM」の数値も確認し、後は、ドスパラや、BTOパソコンミニ館等のサイトでCPU比較ランキング情報を得て、自分のPCのCPUの性能を判断すれば良い。

このCPU情報をより詳しく見るのにFBなフリーソフト、CPU-Zがある、以下は、CPU-Zで見た私のPC情報です。



The image displays two screenshots of the CPU-Z software interface. The left screenshot shows the 'CPU' tab with the following information:

Processor	
Name	Intel Core i7 6700
Code Name	Skylake
Max TDP	65.0 W
Package	Socket 1151 LGA
Technology	14 nm
Core Voltage	1.044 V
Specification	
Intel(R) Core(TM) i7-6700 CPU @ 3.40GHz	
Family	6
Model	E
Stepping	3
Ext. Family	6
Ext. Model	5E
Revision	R0
Instructions	
MMX, SSE, SSE2, SSE3, SSSE3, SSE4.1, SSE4.2, EM64T, VT-x, AVX, AVX2, FMA3, TSX	
Clocks (Core #0)	
Core Speed	3789.78 MHz
Multiplier	x 38.0 (8 - 40)
Bus Speed	99.73 MHz
Rated FSB	
Cache	
L1 Data	4 x 32 KBytes
L1 Inst.	4 x 32 KBytes
Level 2	4 x 256 KBytes
Level 3	8 MBytes
Selection	
Socket #1	Cores 4
	Threads 8

The right screenshot shows the 'Memory' tab with the following information:

General	
Type	DDR4
Channel #	Single
Size	8 GBytes
DC Mode	
NB Frequency	3890.5 MHz
Timings	
DRAM Frequency	1063.9 MHz
FSB:DRAM	1:16
CAS# Latency (CL)	15.0 clocks
RAS# to CAS# Delay (tRCD)	15 clocks
RAS# Precharge (tRP)	15 clocks
Cycle Time (tRAS)	35 clocks
Row Refresh Cycle Time (tRFC)	374 clocks
Command Rate (CR)	2T
DRAM Idle Timer	
Total CAS# (tRDRAM)	
Row To Column (tRCD)	

Processor/Name(名前):Intel Core i7 6700 Code Name(開発コード名):Skylake

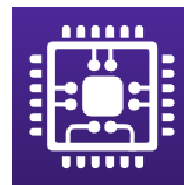
MAX TDP(消費電力の目安): 65.0W

Specification(型番):Intel(R) Core(TM)i7-6700 CPU @3.40GHz

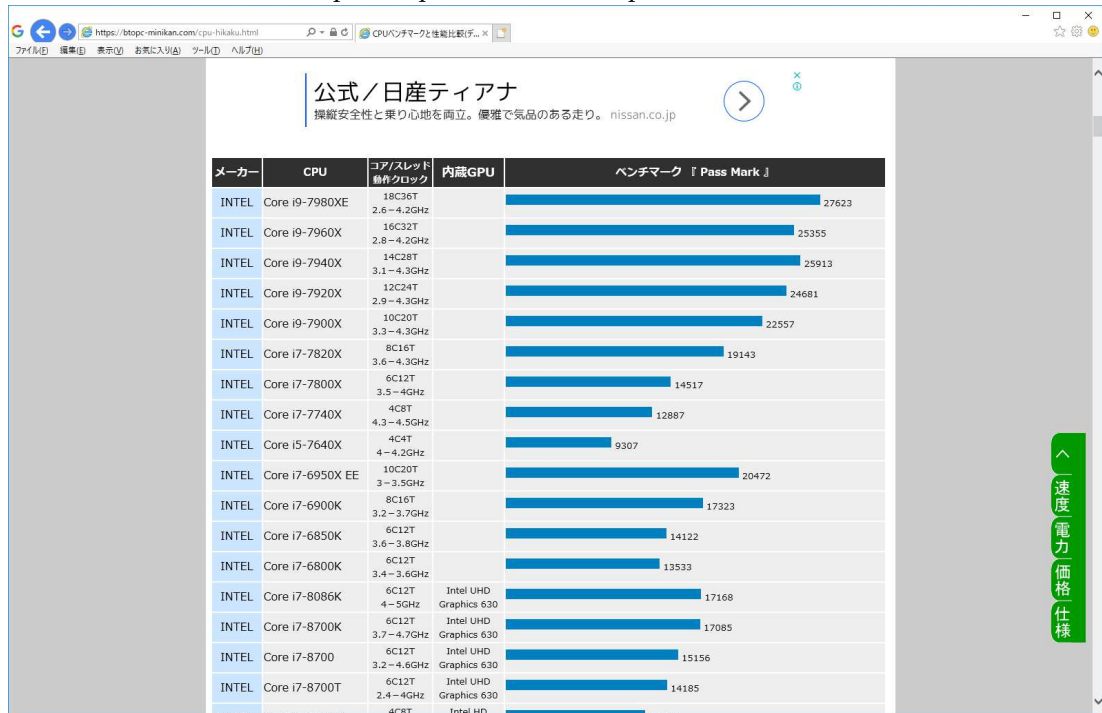
CPU(動作周波数):@3.40GHz Cores(コア数):4 threads(スレッド数):8

が、読み取れ、メモリー情報(右図)から、「Channel#:Single」が読み取れる、メモリーのデュアルチャンネルは、「Single」だからNG、「Dual」ならFBなのだが…

CPU-Z (<https://www.cpuid.com/softwares/cpu-z.html>)



「BFOパソコンミニ館」のページで見るベンチマーク等の表
(<https://btopc-minikan.com/cpu-hikaku.html>)



ご存じでしょうが、「ベンチマーク」とは、パソコンのハードウェアの性能やソフトウェアの処理速度を計るもので、あらかじめ用意されたベンチマーク用のソフトウェアを実行し、その処理に掛かる時間を計測することで性能を評価します。

「CPU」は中央演算処理装置と呼ばれ、1秒間に命令を実行できる回数を「GHz（ギガヘルツ）」で表していますが、この動作周波数が大きいほど、処理性能は高いと考えることができます。

しかし、コア数やスレッド数の違いによっては、同一の動作周波数でも処理速度に大きく影響することがあり、CPUにベンチマークテストを行うことで、カタログ上のスペックによる比較から実際のベンチマーク結果による実測値でCPUの処理性能を比較することが可能になります、CPUはパソコンの処理において中心となるパーツなので、このCPUを計測することでパソコンの大まかな処理能力を知ることになります。

私のCPU、Core i7-6700のベンチマークは9,879、最新のCPU、Core i9-7980XEのベンチマークは27,623(何れもカタログ値)、圧倒的な速度差だ、まあ、私のPCは購入から相当日時が過ぎているし、然も、予算をけちって、型落ちのWin7PCを購入したものだから、旧式に属するものも止むを得ないことか！

(CPU-Zで実測して見たら、実測値は、2,183.2、だ、頭が痛くなった)

現在は、無料でWin10にアップグレードしているが、そろそろ新しいものが欲しくなってきた、特に、不便を感じるのは、オフィスソフトが古いので、新しいソフトで作成した、ワード(.docx)やエクセル(.xlsx)のファイルがまともに開けない、新しいオフィスソフトを導入するか、新しいオフィスソフトが入ったPC本体を購入するのだが、限られた予算では、両方とも選択肢では無いようだ、年金生活者はつらい！

「.docx」も「.xlsx」も、別ソフトで何とかなっているから、まあ、いいかです hi